

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	商業係
■評価事業名称	中小企業県制度融資利子補給金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060200 - 218	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	03 活気ある商工業の振興		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	中小企業の事業資金の円滑な運用による商工業の振興。岩手県小口事業資金貸付要綱、いわて起業家育成資金貸付要綱又は岩手県商工観光振興資金貸付要綱に基づき、取扱金融機関が中小企業者に貸し付けた資金に対し、北上市中小企業県制度融資利子補給要綱に定める年利1.5%以内で計算した利子相当額を補給する。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01	中小企業県制度融資利子補給金	取扱金融機関(中小企業者)	利子補給金額:16,000千円 利子補給件数:1,150件	利子補給金額:15,896,692千円 利子補給件数:1,124件

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	10,864	13,347	15,149	15,900	
人件費	1,694	1,638	1,276	1,221	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	12,558	14,985	16,425	17,121	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	1円当たりのコスト	1.15千円	1.13千円	1.09千円	1.08千円	
	1件当たりのコスト	14千円	14.3千円	14.7千円	14.1千円	
	利子補給額	10,861千円	13,336千円	15,140千円	15,897千円	

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

利用件数	727件	934件	1,031件	1,124件	
------	------	------	--------	--------	--

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- ☐ A. 順調  
☒ B. 概ね順調  
☐ C. 遅れている

### 達成状況の分析

市制度よりも利用者にとって市制度より有利であるため、件数増加に伴って補給金も増加している。

### 問題点・課題等

今後も市制度よりも利用されることが見込まれるため増加すると思料する。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ  
☒ 特定されるが多数に及ぶ  
☐ 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない  
☒ 類似の事業はあるが競合はない  
☐ 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- ☒ 大きな不利益やリスクが生じる  
☐ ある程度の不利益やリスクが生じる  
☐ 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- ☐ 市民生活・企業活動の維持に不可欠  
☒ 市民生活・企業活動の維持の向上に必要  
☐ 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- ☒ 1. で選択した人の大多数(70%程度)  
☐ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)  
☐ 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている  
☒ ニーズは変わらない  
☐ ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い  
☒ 順位が中程度  
☐ 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☒ 順位が高い  
☐ 順位が中程度  
☐ 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- ☒ 先進的またはユニークな事業である  
☐ 他と同程度の事業である  
☐ 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい  
☐ 民間委託等の拡充が十分に可能  
☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい  
☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能  
☐ 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

県制度融資の利用状況を注視しながら継続

### ■今後の方向性

- ☐ I. 拡充  
☒ II. 継続  
☐ III. 縮小  
☐ IV. 廃止・休止  
☐ V. 完了